

高見山を越えるみち



起点 飯高町月出 (宿泊村「月出の里」)
終点 奈良県東吉野村杉谷 (杉谷バス停)
延長 11.9km
利用タイプ A

沿線の風景

月出の里を出発し、泰運寺に至る。曹洞宗天開山泰運寺の本尊は子安観音で、子授けの寺として県内外から参詣者が多い。江戸時代に完成した八角銅鐘は県の文化財に指定されている。

泰運寺から波瀬までは、飯高町の花であるやまゆり（波瀬ユリ）が所々に群生し、7月中旬から下旬に見頃をむかえる。

波瀬に入ると、和歌山街道の宿場の面影を残し、江戸時代の参勤交代制度により、紀州侯が江戸～紀州間を定期的に従来した際の本陣跡が残っている。

高見峠までの登山道は、かつて伊勢神宮への参拝客が行き来した道であるが、途中、大化の改新で中大兄皇子と中臣鎌足に暗殺された蘇我入鹿を祀ったとされる五輪塔がある。

高見山は標高1,248.9mあり、奈良県との県境にそびえる飯高三名山（局ヶ岳、三峰山、高見山）の一つで、霧氷、樹氷が美しく、山頂には高見神社の祀がある。

主な見どころ

泰運寺、やまゆり群生地、波瀬本陣跡、波瀬植物園、陶芸の森「虹の泉」



起点 月出の里 (宿泊村)

終点 奈良県東吉野村杉谷 (杉谷バス停)

凡 例	
▲案内標識	Ⓜ休憩所(四阿)
●指導標識	◊展望施設
■公衆トイレ	Ⓟ駐車場
〔利用タイプ〕	
Aタイプ	山地等でやや体力を要するコース
Bタイプ	山地、丘陵地を通過するコースで一般向きのコース
Cタイプ	全体がほぼ平坦なコースで小さな子供でも利用可能なコース

